

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防団小型動力ポンプ積載車整備事業			会計	款	項	目	大	小
				01	09	01	03	02	53
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防防災課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	笠原 圭史				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	火災等の災害に対応を必要とする市民	意図	災害の被害を軽減するために、消防車両、資機材の整備を通じて、対応能力向上、消防団員の技術向上及び士気の向上を図る。
事業内容	平成12年度に購入した、第20分団の車両を最新性能を装備し、機動性に優れた小型動力ポンプ付積載車へ更新整備するもの。			
事業開始から現在までの状況変化	消防団の小型動力ポンプ付積載車は、経年劣化により順次更新整備が必要であり、総務省消防庁から消防団の充実強化について推進しているところである。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	火災件数	18	29	21	件	↓↓↓	年度別の火災件数
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 消防団の装備等について充実強化を図っており、今後起きると予想される大規模地震などの災害時において、消防団の災害活動での重要性が増しているところである。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)			11,742,419	10,683,002				
事業費(b)(円)			9,057,619	8,046,202				
うち一般財源			2,195,619	2,013,202				
職員給与費(c)(円)			2,684,800	2,636,800				
人役・職員(人)			0.40	0.40				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	消防団車両等の整備により充実強化を図る。	③取組における課題(Check)	今後更新予定の消防団車両の資機材等の充実強化が必要である。
②H30に実施した取組(Do)	消防団小型動力ポンプ付積載車を整備し装備の充実強化を図った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	消防団車両及び資機材の更なる充実強化を図る。